



留学生新聞

2009年5月 発行 〒512-8512 四日市市萱生町 1200 留学生支援センター
四日市大学留学生会 Tel:059-365-6793 (直)

編集部：王 金栄 (経営3) 鄭 秋蘭 (経営3) 呉 徳峰 (現代ビジネス3)
チェトリ・ミラン (メディア2) ヤンレイ (経営2) ユディ・ヌガラハ (総合2)



暖かい春が再び訪れました。新入生を迎え、キャンパスのあちこちで新入生のみなさんのにぎやかな笑い声、元気いっぱいの姿が見られます。3年前、みなさんと同じように私も四日市大学へ入学しました。みなさんの姿を見ていると、大変懐かしく思います。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

今年1月10日に大学開学20周年を記念し、日本を象徴といわれる桜とハナミズキの苗木を3本植えました。そして三ヶ月の風雨に耐え、今春花を咲かせました。こんな不景気の中3年生になる私は、就職活動を始めなければなりません。これからたくさんの困難に直面し、乗り越えなければならないと思います。新入生のみなさんも、これから四年間、自信を持って、目標に向かって精一杯頑張ってください。今の私たちはこの木のように、まだ小さく弱いけれど、乗り越えればいつか絶対満開の花を咲かせると信じています。皆さん、前を向いて一緒に手をつないで歩いていきましょう。 (経営学科3年 王 金栄)



3月27日(金)に代表として私たち6人と留学生支援センターの先生が直接いなべ市阿部さんのご自宅を訪ねました。四日市大学の留学生はいなべの農家阿部さんからお米をいただきました。お米の量はなんと300kg以上でした。そのお米を留学生に味わってほしい、また勉強も頑張ってもらいたいと語っていました。阿部さんの話を聞くと非常に嬉しくて感動しました。そこでソンさんからの提案によって留学生はもちろん、阿部さんのお米を四日市大学の全員に味わってほしいと話しました。阿部さんのお米を知ってもらうために非常に効果的な方法です。これは大変素晴らしいアイデアだと思いました。実はコシヒカリのようなおいしいお米は値段が安くないのでなかなか食べられません。阿部さんのお米を食べてみると本当においしかったです。

留学生のために阿部さんの優しさ、暖かさが私たちの心に伝えてくれました。阿部さんのような留学生に関心がある人々は私たちにとって大切な存在です。今不況の中で私たちにとって阿部さんの応援や激励は大きな意味がありました。心から感謝いたします。これからも私自身がいくら大変でもあきらめずに頑張っていきたいと思います。

(総合政策学科2年 ユディ・ヌガラハ)





奨学金

平成 20 年度 貢献顕著な私費外国人留学生奨学金授与式



1月27日(火)、貢献顕著な私費外国人留学生奨学金授与式が行われ、教学部長岩崎恭典先生より、下記のとおり受賞者5名に手渡されました。この奨学金は、学内国際交流活動等において活動した留学生に贈られる奨学金です。受賞者のみなさん、おめでとうございます。

学部	学科	学年	氏名	備考
経済	経済	3年	沙 鑫 (シャ シン)	留学生会会長
経済	経営	2年	エスコート マリッサ クナナン	暁高校生と国際交流 同窓会で民族舞踊披露
経済	経営	2年	王 金栄 (オウ キンエ)	各種イベントでの司会 留学生新聞編集
経済	経営	2年	李 文星 (リ ブンセイ)	留学生会副会長 各種イベントでの司会
環境情報	メディア コミュニケーション	2年	ホック エムディ モビヌル	全国弁論大会出場

国際ソロプチミスト三重-北 奨学金授与式

4月23日(木)、国際ソロプチミスト三重-北から、会長様はじめ3名の役員の方にご来学いただき、本学経済学部 経営学科 2年 ティ エイランさんに奨学金が授与されました。

これは学業・人物共に優秀でかつ健康な女子外国人留学生に対して贈られるものです。ティ エイランさんは、その優秀な成績と共に、大学祭や地域ボランティアでの活動などが高く評価され、受賞することとなりました。

ティ エイランさんおめでとうございます。



Super News :

新入生を迎え、新しい出会いを求め楽しい交流をするため、2009年留学生新入生歓迎・交流会を行います。皆さん、ぜひ来てください。

日時：5月23日(土) 10:40~12:30

四日市大学留学生会



コラム



2009年4月より、西牧前留学生支援センター長の後任としてセンター長を拝命した加納です。西牧前センター長は多くの留学生から慕われ続けた父親的な存在でした。前センター長のような存在には成れそうにありませんが、家族を離れ一人日本で生活を送る留学生の親代わりとして少しでも心の支えになることができればと考えています。留学支援センターの樋口さん、黒田さん、大橋さん、そして引き続き四日市大学理事長特命補佐としてお力添えをいただく西牧先生を始め、支援委員の都島先生、岩崎先生、岡先生、松脇先生、寺石先生とともに留学生の皆さんの大学生活をしっかりとサポートしていきたいと考えています。留学生の皆さん、どうぞよろしくお願いします。(環境情報学部 加納 光)

「留学生支援センターに来てください」



本学の留学生は約 250 人という大人数になりました。個人の事情が複雑になり、個々の希望や必要性も、どんどん多様化しています。お互いの経験を生かし、互いに協力すれば、大きなパワーとなるのです。

一方、心配事も複雑化しています。悩みがない人など、いないでしょう。ひとりで悩みを抱えずに、スタッフに話を聞かせてください。困ったとき、誰かと話したいとき、何かに挑戦したいとき、誰かの協力が必要なおき…ここに来て情報を発信し、情報を収集してください。「私は、元気になっているよ」と知らせてください。

人数が少なくても多くても、支援センターの基本は変わりません。「どうか、支援センターに来てください。」いつでも、お待ちしております。(留学生支援センター 樋口 晶子)

皆さんお久しぶりです。

私は 2009 年 3 月に総合政策学部を卒業した留学生王文娟と申します。今年の 4 月から名城大学大学院経済研究科に入りました。一ヶ月の大学院生活を経て一番感じたのは忙しいことです。毎日ゼミのような少人数授業ばかり、ゼミのように発表があり、ゼミのように本を読まなければなりません。しかし、それによってたくさんの知識を身に付けました。すごく自分を豊かにする感じがします。初めは辛いかもしれませんが、どんどん本の魅力を楽しむことになるでしょう。そして、本から自分の未来も見えるかもしれません。



今、世界経済危機の環境において、就職は難しければ難しいほど自分を豊かにするいい時期ではないかと考えます。皆さん学部の楽しい生活を送るとともに自分の夢も忘れずに頑張ってください。(総合政策学部 2008年度卒業生 王 文娟)



国際交流

One stone to kill two birds

Hello, everybody. How is everything? How do you want your overseas-studying life to be? Most overseas-students need more time. But have you thought about how to use your time more efficiently? I have. I always keep thinking of how to use one stone to kill two birds. The Short Term English Houses helped me to do that once more. That is using English, making friends, enjoying the beautiful nature... Maybe not only two, but three, four...or more birds.

For the three-day trip, we cooked by ourselves and tried to use English. You know we have so little chance to speak English in daily-life especially at cooking-time. We had the cooking lessons, exchanged ideas about food culture. We went around the hotel to find the answer for the scavenger hunt, played game in the campfire, had the pine cone fight while climbing the mountain...also we had a surprise birthday party for two of our members. Through the event we learned that not only to defeat our fear but also how to cooperate with others, and have fun in English. If you went yourselves, you must have found more things interesting and surprising. Try to find something that you like to do for the university-life. If we try our best, and I believe we can. "Yes, we can." (The US' s President Obama' s word). Let' s enjoy our life and step on the road to our future.



(経営学科3年 鄭 秋蘭)

留学生とのお花見

4月12日(日)、お花見がありました。このお花見は、日中友好協会四日市支部さんが毎年4月の第二日曜日に行っており、今回四日市大学からも参加させて頂きました。

天気は心配をよそに快晴で、残る不安要素は約束の時間に皆が揃うかどうか。多少の遅刻はあったものの、四日市大学から留学生の李文星さん、陳磊さん、日本人学生の宮本さんと私の全員が無事参加できました。

この花見は四日市の日本語学校の留学生を歓迎する会で、約40人の留学生が集まりました。やはり大学の留学生と同様みんな元気でした。だからこちらも頑張りがいがあり、バーベキューの後の大縄跳びでは張り切りすぎて、次の日に体中がズキズキ痛みました。



私は留学生が大好きです。比べるのはあまり良くありませんが、日本人学生よりも留学生がとても魅力的に感じます。文化の違う外国に行って、更に働きながら大学に通っている人達なのですから当然なのかもしれません。だから日本人学生は留学生から教わる事がたくさんあると思っています。

来年のお花見は、更に多くの方が参加できるよう計画します。予定を空けておいて下さい。

(環境情報学部3年 立木 宏征)